

# 「共に生きる私たち」

9月

① 国語 個人 (1)「だれもが関わり合えるように」を読む

(2) 課題を確認

「身の回りには、目の不自由な人の役に立つどんな工夫があるか。」

調べる方法を確認

「身の回りを探す」

調べたらカードに書く (見つけたもの・見つけた場所・工夫)

(3) 発表する(グループ内) ★コミュニケーション能力アップ!! 基礎練習

①みなさん、この(カードの絵を指さして)〇〇を見てください。

②私は、身の回りにある、目の不自由な人の役に立つ工夫について調べました。「調べたこと」

③家の中を探しました。「調べ方」

④〇〇ということが分かり、〇〇と思いました。「分かったこと・考えたこと・思ったこと」

⑤これからは…。「これからの課題」

② 図書 かかわり合い、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等に関わる本の紹介を聞き、読む

③ 総合 (1) 興味をもったことや疑問に思ったことなどを、皆で出し合う(ウェブマップ)

(2) 自分の課題を決める

(3) 本や調査、インターネットで調べる

10月

① 総合 ★オリパラ(パラ)関係の人からお話を聞く→感想をまとめる

11月

① 総合 ★言ろう体験 11月14日 →感想をまとめる

(1) 調べたことを「 」の形にまとめる

(2) 発表準備 (2分くらいのスピーチ) はっぴょうメモを作る

(3) メモを元に練習

(4) グループ内で発表 ★コミュニケーション能力アップ!! 実践

①調べた理由と調べたこと

②調べ方

③分かったこと・考えたこと・思ったこと

④これからの課題

(5) 他のクラスの友達に発表

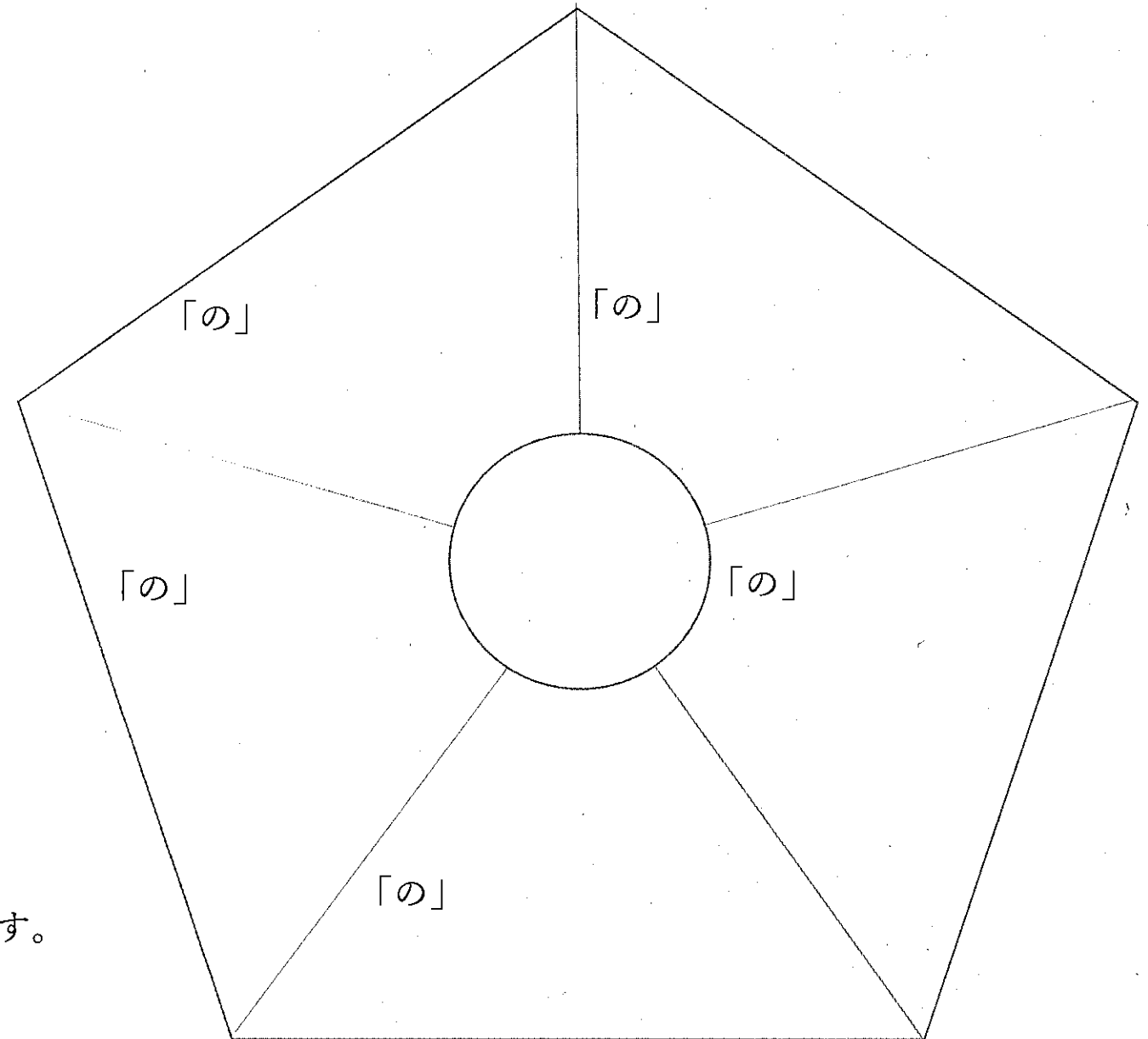
(6) 友達の発表から学んだこと・この学習を通して学んだことをまとめる

組 名前

## 知りたいことをしぼろう ペンタゴンチャート

4年総合 ともに生きる

「だれもが関わり合い、共によりよく生きる」



- ①「だれもが」の「だれ」について知りたいかを  
チャートの中心に書きます。
- ②その人々について、知りたいことを  
「の」に後に続けて書きます。
- ③調べたい順に（１）（２）（３）の数字を書き、  
それぞれを「～か。」というぎ問の文にしてみましょう。
- ④その中から、あなたの課題を決定しましょう。  
し料があるか、調べやすいかなどを先生とそうだんします。

(1)

(2)

(3)

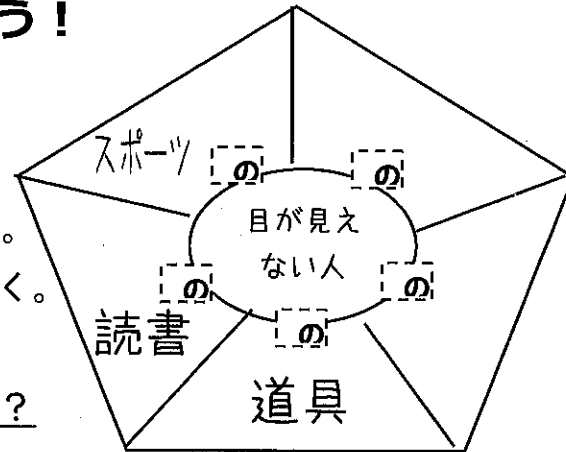
# 4年「だれもがよりよく関わり合うこと」について 調べ方のヒント

## 1 調べたいことを、見つけよう！

- そのためには？ → キーワードをたくさんひろう  
 どうやって？ → ①本の目次を読む  
 ②気になるキーワードを見つけたら  
 →ウェブマップに書き込む(しるしをつける)  
 ③役に立つ本は、書名とページ番号を記録する

## 2 調べたいことを、はっきりさせよう！

- ウェブマップから、知りたい人を真ん中に書く。
- その人の、何を知りたいのを、まわりに書く。
- その中から、調べたいことを、問いの形で書く。  
 目が見えない人の  
 スポーツは、どんなものがあるのだろうか？



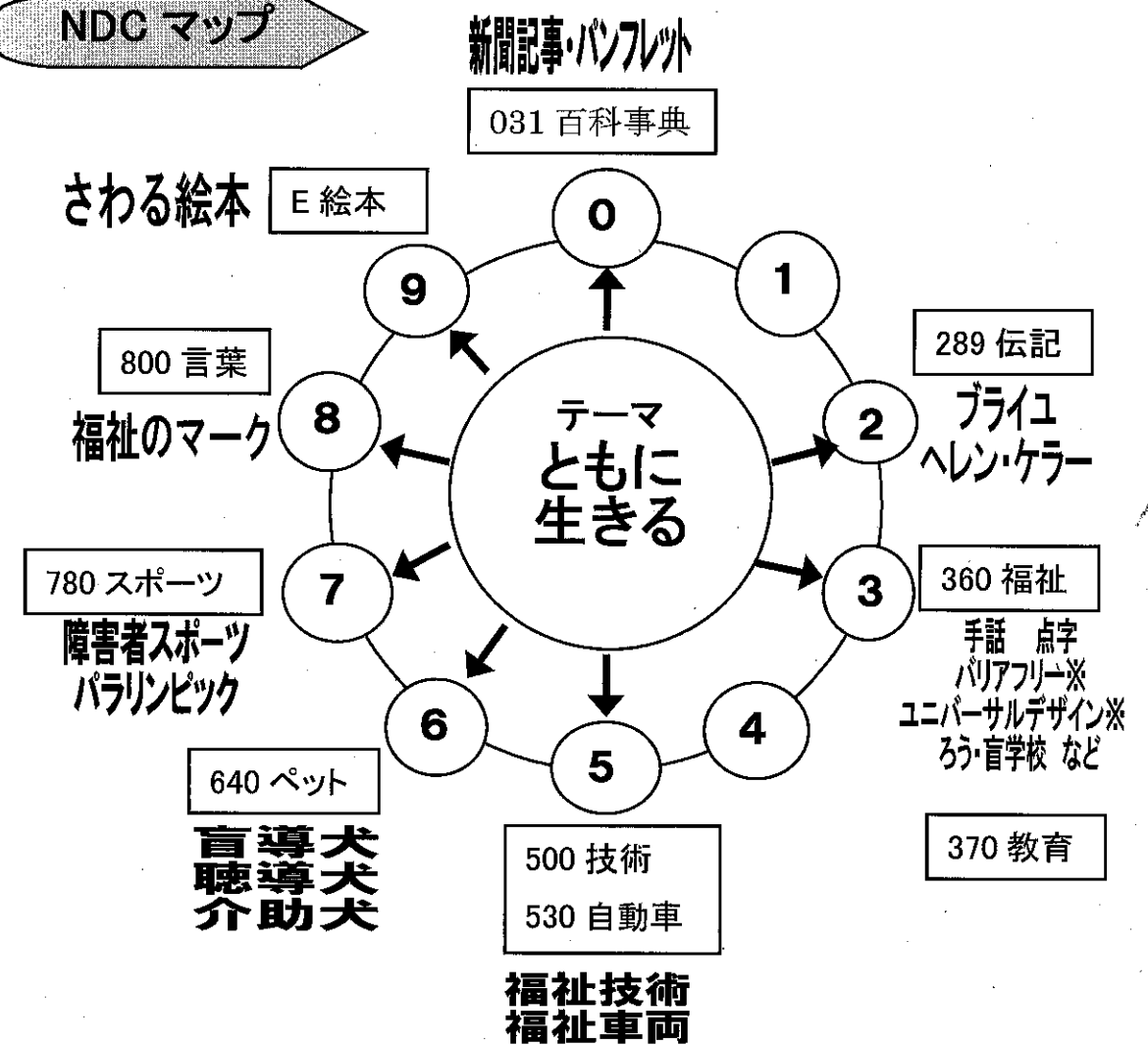
## 3 資料をさがして読んでみよう！ 調べてみよう！

**NDCマップ** を参考(さんこう)にしよう。  
 目次(めいじ)や索引(さくいん)で、気になるキーワードを引いて、内容(りゆう)を読む。

## 4 調べたことを、情報カード(じょうほう)やノートに書こう！

## 5 まとめる・本当に必要な情報(ひつよう じょうほう)を、えらんでまとめる 関係ない情報(かんけい)は、すてる！

### NDC マップ



**【バリアフリー】**  
 高齢者(こうれいしゃ)や障がいのある人が社会生活を送るうえで、バリア(妨げ)となるものをとりのぞくこと。すべての人が、ともにくらしが出来る社会をめざし、道路や建物、公共交通機関などの段差をとりはらおうという、建築や街づくりから生まれた。現在は、社会制度、心理、意識、情報などでのバリアをとりのぞく取り組みがおこなわれている。

**【ユニバーサルデザイン】**  
 年齢や能力にかかわらず、だれもがつかいやすいように考えられたデザイン。さまざまな人がさまざまな方法で利用でき、わかりやすくつかいやすく、まちがってつかったときにも危険が少ない、身体的な負担が少ない、利用しやすい大きさや広さがある、などの点について、とくに考えられている。

出典: 『ポプラディア』ポプラ社